

CODE V MetaOptic Design モジュール

Integrate meta optics into your next design

主な特長と利点

最先端のメタレンズ技術

先進的なメタレンズ技術を活用して光学システムを強化します。回折素子の一種であるメタレンズは、集光性能、小型化、効率の大幅な向上を実現し、光学エンジニアにとって不可欠なツールとなります。

洗練されたメタアトムモデリング

高度なモデリングを使用して、複雑なメタアトムの複雑なパターンを表面に適用します。この機能により、ナノピラー型のメタアトムの直径やフィン型メタアトムの回転角に応じた回折効果を考慮し、精密な性能解析が可能になります。また、波長、入射角、偏光依存性も考慮できます。

統合された最適化ツール

メタレンズ設計と従来の屈折 / 反射素子を同時に最適化します。統合された最適化によって複数の波長や入射角をバランスさせ、より高い光学性能を実現します。

CODE V MetaOptic Design モジュールは、メタサーフェスの設計を可能にすることで、光学技術の大幅な進展をサポートします。メタサーフェスは薄く平らな構造であり、従来のレンズの性能と機能を大幅に向上させることが期待されています。メタレンズは、他の回折素子と同様に、光学エンジニアの新しい強力なツールになる可能性を秘めています。

包括的なメタサーフェス設計ワークフロー

1. メタアトムデータベースの構築

- 事前に提供されたデータベースまたは、DiffractMOD RCWA や FullWAVE FDTD で作成したカスタムデータベースを使用

2. 光線ベース設計の実行

- CODE V で光学系を設定
- 屈折レンズとメタレンズの最適化

3. CODE V の評価関数を使用 (スポットサイズ、波面収差、またはユーザー指定の評価関数)

- 変数と制約条件を設定

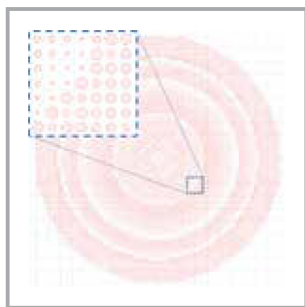
4. ポスト処理と製造

- 結果表示
- ポスト処理
- 結果を Synopsys S-Litho にて統合



シームレスな製造環境を実現

CODE V で設計したメタオプティック素子を製造者が必要とする GDSII ファイルにエクスポートすることができます。



本モジュールのライセンスについて

このモジュールは CODE V のオプションモジュールのため、追加の購入が必要です。また、CODE V のライセンス形態はシノプシスコモンライセンス (SCL) となります。

無償トライアル / お見積もり / 技術相談などお問合せ

ご希望の方は osg_sales_japan@synopsys.com にお問合せください。

SYNOPSYS[®]

日本シノプシス合同会社

〒158-0094 東京都世田谷区玉川2-21-1 二子玉川ライズ オフィス

TEL. 03-6746-3500(代) FAX. 03-6746-3535